

2014年度第1四半期決算の概要（補足資料）

三井化学株式会社

2014年8月1日

目次

1) 2014年第1四半期決算の概要	… 1
2) 機能化学品セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	… 2
3) 機能樹脂セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	… 3
4) ウレタンセグメントの増減概要（売上高・営業利益）	… 4
5) 基礎化学品セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	… 5
6) 石化セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	… 6
7) フィルム・シートセグメントの増減概要（売上高・営業利益）	… 7

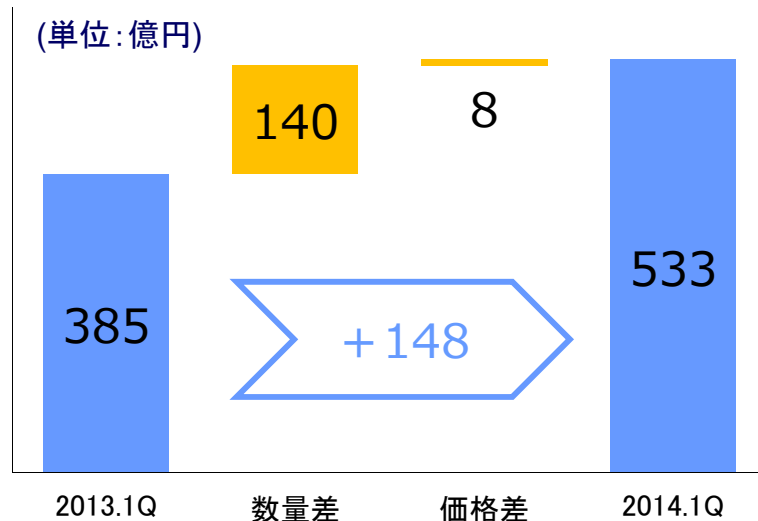
1) 2014年第1四半期決算の概要

(単位：億円)

摘 要	13年度 4-6月決算	14年度 4-6月決算	増減	増減率
売上高	3,631	3,892	261	7%
営業利益	93	104	11	12%
営業外損益	6	△18	△24	—
経常利益	99	86	△13	△13%
特別損益	△20	△4	16	—
税金等調整前四半期純利益	79	82	3	3%
四半期純利益	47	34	△13	△28%
為替レートの影響(円/\$)	99	102	3	
国産PPの増減(円/KL)	65,500	69,900	4,400	

2) 機能化学品セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年第1四半期 対 2013年第1四半期)



533 億円 (前年同期比 +148 億円)

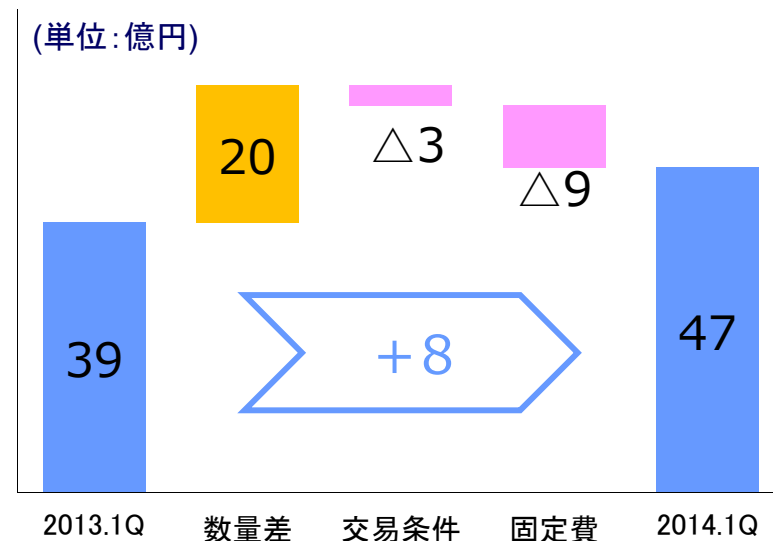
数量差 +140億円

- ・メガネレンズモノマー、不織布、農薬等の主に海外での需要拡大に伴う拡販。
- ・歯科材料事業買収による増加。

価格差 + 8億円

- ・主にヘルスケア、農薬の為替差。

営業利益増減 (2014年第1四半期 対 2013年第1四半期)



47 億円 (前年同期比 +8 億円)

数量差 +20億円

- ・メガネレンズモノマー、不織布、農薬の輸出拡大等による増販。

交易条件 △ 3億円

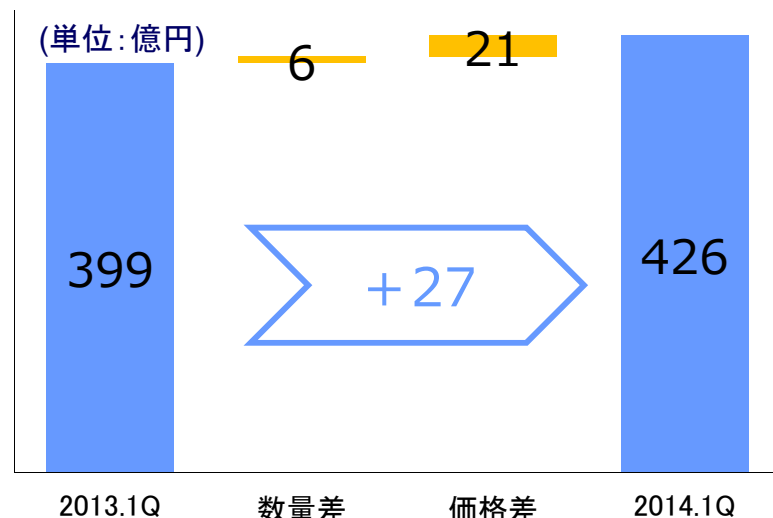
- ・主に在庫の低価法評価による影響。

固定費他 △ 9億円

- ・歯科材料事業買収による固定費の増加、農薬の研究開発費増加等。

3) 機能樹脂セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年第1四半期 対 2013年第1四半期)



426 億円 (前年同期比 +27億円)

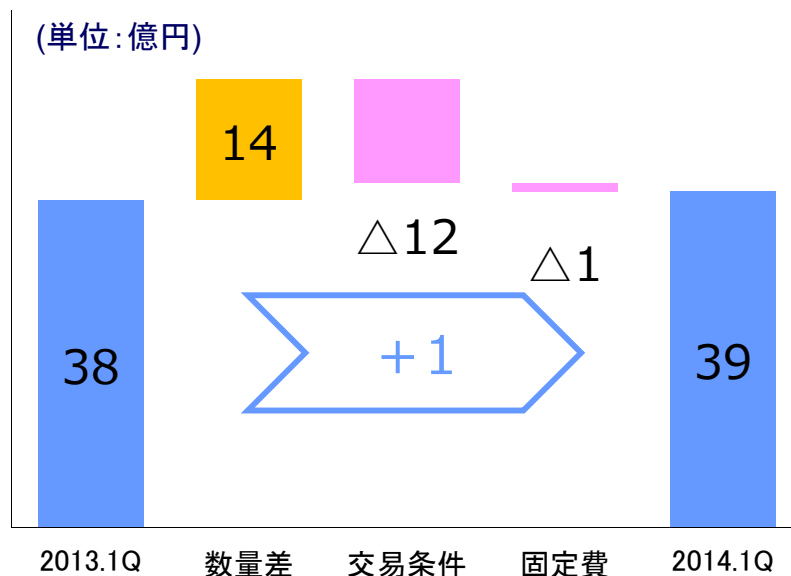
数量差 +6億円

- ・北米を中心とした自動車用途の需要拡大に伴うエラストマー、機能性コンパウンドの拡販。
- ・スマートフォンおよび電子情報フィルム向け機能性ポリマー等の拡販。

価格差 +21億円

- ・主に為替差による増収。

営業利益増減 (2014年第1四半期 対 2013年第1四半期)



39 億円 (前年同期比 +1億円)

数量差 +14億円

- 自動車用途の需要拡大に伴うエラストマー、機能性コンパウンドの増販およびスマートフォンおよび電子情報フィルム向けに出荷が好調な機能性ポリマー製品の増販。

交易条件 △12億円

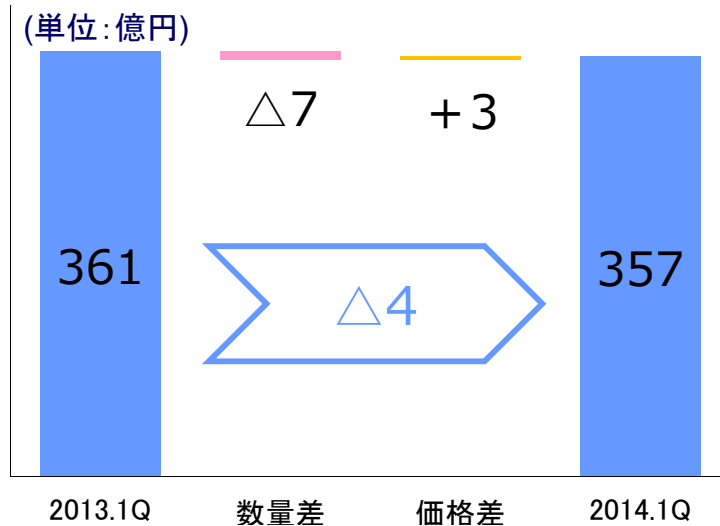
- 主にエラストマーでの原料価格上昇に伴う交易条件の悪化。

固定費他 △1億円

- 販管・研究費等の増加。

4) ウレタンセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年第1四半期 対 2013年第1四半期)



357億円 (前年同期比 △4億円)

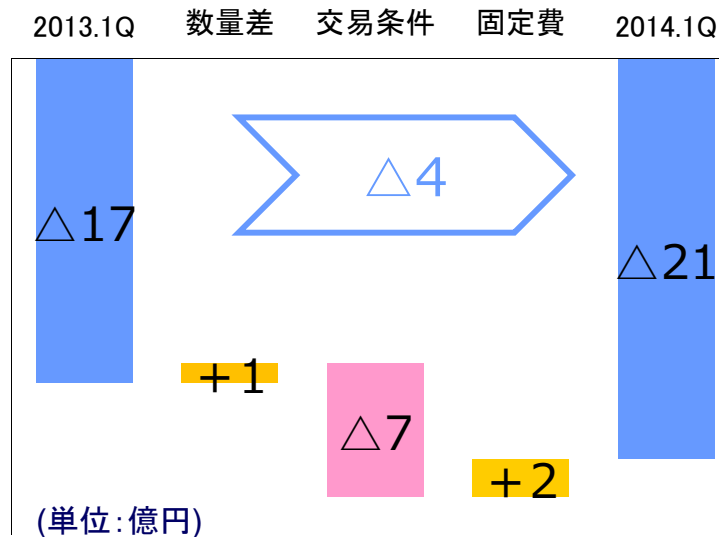
数量差 △7億円

TDI等ポリウレタン材料の販売数量減少。

価格差 +3億円

主に為替差。

営業利益増減 (2014年第1四半期 対 2013年第1四半期)



△21億円 (前年同期比 △4億円)

数量差 +1億円

コーティング・機能材での増販等。

交易条件 △7億円

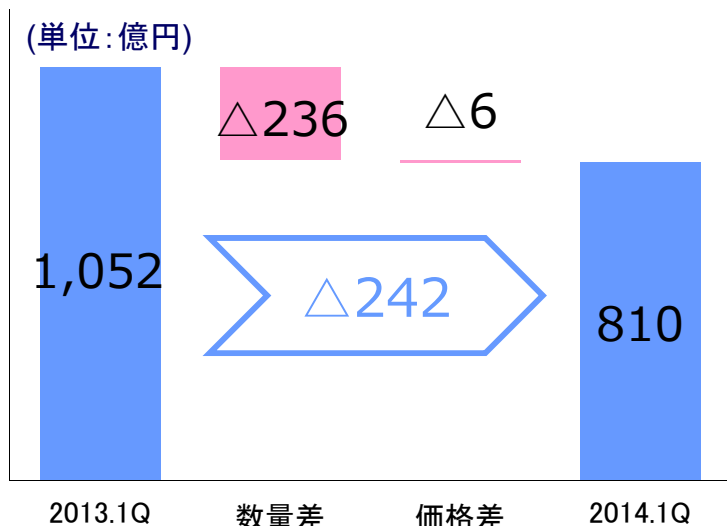
海外のTDI市況下落および原燃料価格の上昇。

固定費他 +2億円

コスト削減等。

5) 基礎化学品セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年第1四半期 対 2013年第1四半期)



810億円 (前年同期比 △242億円)

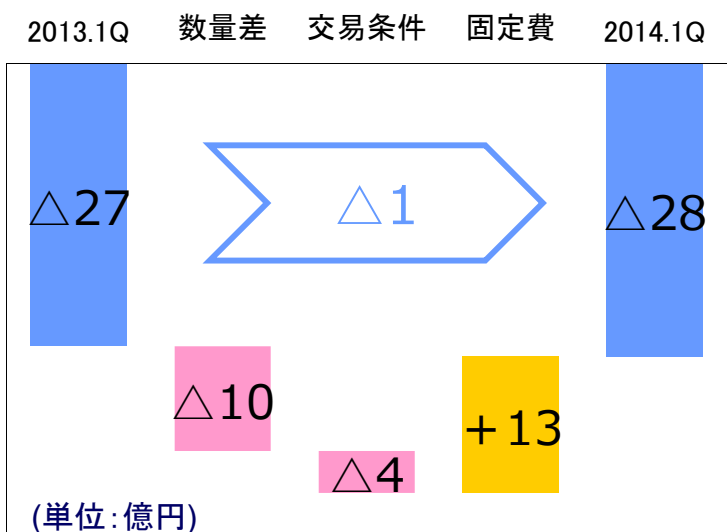
数量差 △236億円

PTAの連結子会社範囲変更に伴う減少およびPH類での地産地消化に伴う輸出の減少等。

価格差 △6億円

輸出、海外品の為替差およびPH類を中心とした原料価格上昇に伴う国内での販売価格上昇による増収。

営業利益増減 (2014年第1四半期 対 2013年第1四半期)



△28億円 (前年同期比 △1億円)

数量差 △10億円

PTAの連結子会社範囲変更に伴う減販およびPH類の減販等。

交易条件 △4億円

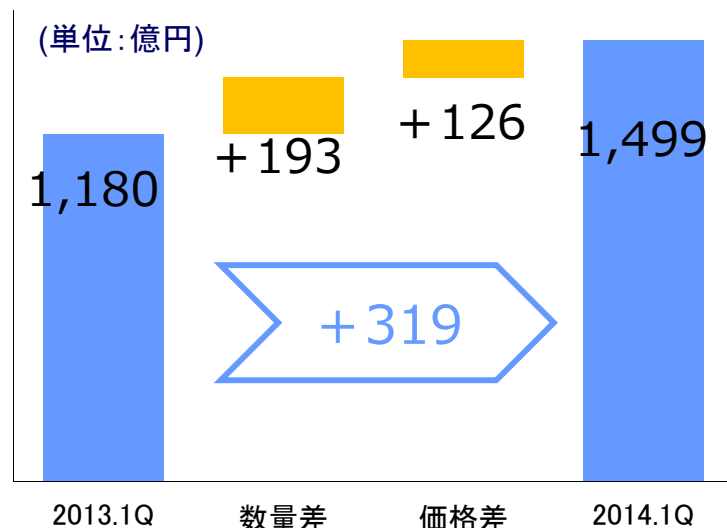
PHスプレッド改善も、原燃料の高止まりによる減益。

固定費他 +13億円

PTAの連結子会社範囲変更に伴う固定費減少およびコスト削減等。

6) 石化セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年第1四半期 対 2013年第1四半期)



1,499億円 (前年同期比 +319億円)

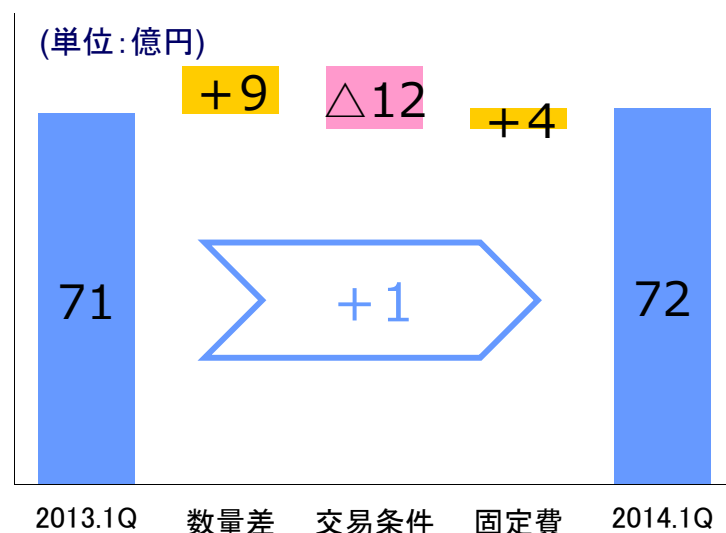
数量差 +193億円

海外の自動車向け P P コンパウンドの増加、国内ポリオレフィンの需要の堅調。

価格差 +126億円

為替差、および原料価格上昇に伴うポリオレフィン価格の上昇。

営業利益増減 (2014年第1四半期 対 2013年第1四半期)



72億円 (前年同期比 +1億円)

数量差 +9億円

海外 P P コンパウンド、国内ポリオレフィン販売ともに堅調。

交易条件 △12億円

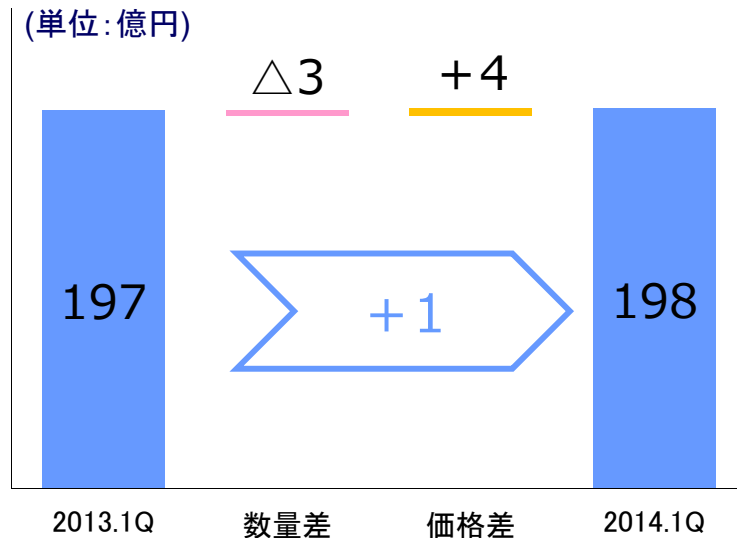
ブタジエン等の副産物市況悪化およびナフサ価格安定に伴う在庫評価益の減少。

固定費他 +4億円

ポリオレフィンプラント停止に伴う固定費減少、コスト削減等。

7) フィルム・シートセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年第1四半期 対 2013年第1四半期)



198億円 (前年同期比 +1億円)

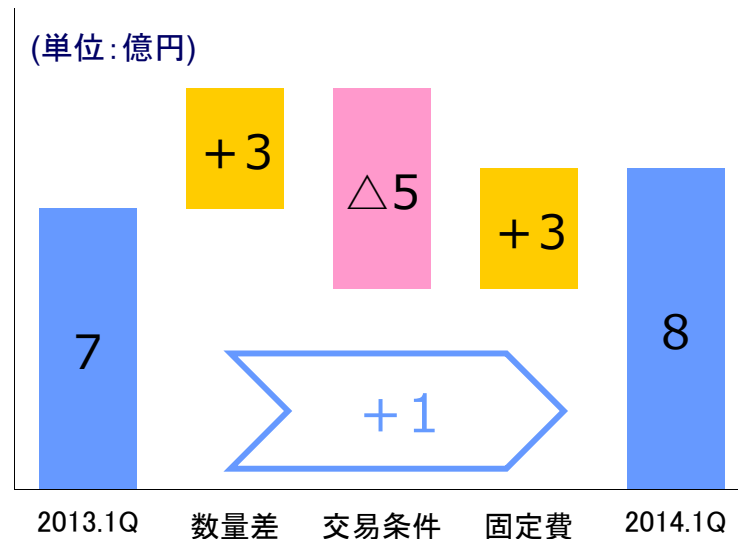
数量差 Δ 3億円

電子・情報用フィルムの増販あるも、包装フィルム、機能シートの減販。

価格差 +4億円

包装フィルムでの原料価格上昇に伴う販売価格改定の影響等。

営業利益増減 (2014年第1四半期 対 2013年第1四半期)



+8億円 (前年同期比 +1億円)

数量差 +3億円

電子・情報用フィルムの増販等。

交易条件 Δ 5億円

ナフサ価格上昇に伴う原料価格上昇による減益。

固定費他 +3億円

コスト削減等。